

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人アクションタウンラボ

1 事業の成果

今期は「開発期」始まりの年として見据え、孤立させない場所づくりに、よりつながるよう事業全体の見直しを図りました。これまでしてきた公益性の高い委託事業と、認定NPOにふさわしい公益性の高い事業との、すみわけやバランスを意識した再構築をはかり、新たなスタートを切る準備を始めました。

<令和年度のテーマ> 私の居場所

本年度は、認定NPOにふさわしい内部組織の在り方や事業の公益性を見直し、本団体のミッションである「孤立させない場所づくり」に愚直に向き合いました。

コロナが5類に移行し、少しずつではあるものの、地域活動が復活し始めました。その一方で、こどもやひとり親家庭、高齢者、障がい者などの課題解決の不十分さが浮き彫りになりました。本団体は、孤立させない場所づくりをミッションに掲げており、誰もが集まることができる様々な居場所づくりを行いました。

毎日（水曜日以外）行っているラジオ体操では、近隣の高齢者、障がい者などの方々が定例的に参加され、自主的に運営を行う雰囲気作りができてきました。年に2回の懇親会も、来場者からのお申し出で、開催をしました。毎月行っている花活クラブでは、施設内のスペースをお借りし、定期的に花を植え替えたり、養生や手入れをするようになりました。徐々にクラブ会員も増え、作業後の茶話会がよい交流会になっています。手入れで出たはなからは、施設内に設置させていただいたリサイクルボックスで、肥料化できるようになりました。さらに、みんな食minna（こども食堂、地域食堂）は月2回の食事提供、2回のフードパントリーを行い、地域の子育て世帯を中心とした支援を行っています。施設との交渉・調整のほか、九州産業大学・真島先生との連携を図り、こどもたちと大学生が遊んだり勉強したりするたべラボも同時開催し、場を豊かにすることができるようになりました。

この他、近隣小学校のこどもたちを招いてのサマーキッズラボや、スマイルフードドライブを行いました。小学校、地域の公民館、九州産業大学、NPO団体、福岡市社会福祉協議会、福岡市との連携を図り、行うことができました。

5月には、念願であった認定を取得することができました。公益性の高い事業を継続的にしていくことが、社会的に期待されることとなりました。そこで、新年明けてから、今後の事業の在り方について集中討議を行っています。喫緊の重要な局面ととらえ、これまでの運営方法や体制についても、全面的に見直すこととなりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の人数	受益対 象者の 範囲及 び人数	事業費 の金額 (千円)
交流スペースの利用促進に係る事業	①まちスポ福岡東の運営 ②利用者アンケートの実施 ③施設利用を促進する事業： 1) メンズキッチン 2) 女性の自立支援講座	①通年 ②通年 ③ 1) 10月20日 2) 第1期：6月24日、7月8日、7月22日、8月5日 第2期：1月13日、1月27日、2月17日、3月2日	コミュニテイルーム、ハッシュタグ	①3名 ②3名 ③ 1) 1名 2) 3名	①多数 ② ③1) 5名 2) 10名	3081
地域活動の相談対応等、まちづくりの推進に係る事業	①相談対応事業 ②様々な居場所づくりの実施： 1) ラジオ体操 2) 花活クラブ 3) みんな食Minna（支援） ③まちの賑わいと価値を創出する事業 1) サマーキッズラボ 2) 周年祭	①通年 ② 1) 水曜日を除く毎日 2) 第3月曜日 3) 第1～第4金曜日 ③ 1) 7月25日、8月5日、8月20日、8月22日 2) 12月2～5日	コミュニテイルーム、ハッシュタグ、ブランチ福岡下原施設	① ②3名 ③ 62	①多数 ②多数 ③多数	4076

地域活動団体等のネットワーク化に係る事業	スマイルフードド ライブ	9月1日～10月 29日	香椎・下 原地 区、福岡 市	30名	多数	
人材育成及び研修に係る事業	職員研修	通年	あすみ ん	3名	多数	413
地域情報の収集・発信に係る事業	①地域情報の収集・情報発信 ②ソーシャルメディアの運用 ③定期刊行物の発行 ④団体活動の広報サポート	通年		3名	多数	1461
災害に関する緊急支援および復興支援に係る事業	災害復興支援、防災意識の啓発：防災の学校	1月28日	福 津 市 カ メ リ カ ス テ ー ジ	30名	多数	196
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	会議などの業務、会員に関する業務、自主事業の開発	通年	事務所	12人	多数	686

第 5 期(2023 年度)
事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月3日まで
特定非営利活動法人 アクションタウンラボ

第 5 期 事業報告書 目次

1. 交流スペースの利用促進に係る事業P.3
2. 地域活動の相談対応等、まちづくりの推進に係る事業P.4
3. 地域活動団体等のネットワーク化に係る事業P.6
4. 人材育成及び研修に係る事業P.6
5. 地域情報の収集・発信に係る事業P.6
6. パブリックスペース等の調査及び研究に係る事P.7
7. 災害に関する緊急支援および復興支援に係P.7
8. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業P.8

1. 交流スペースの利用促進に係る事業

コミュニティルームの利用促進

1-1 まちスポ福岡東運営

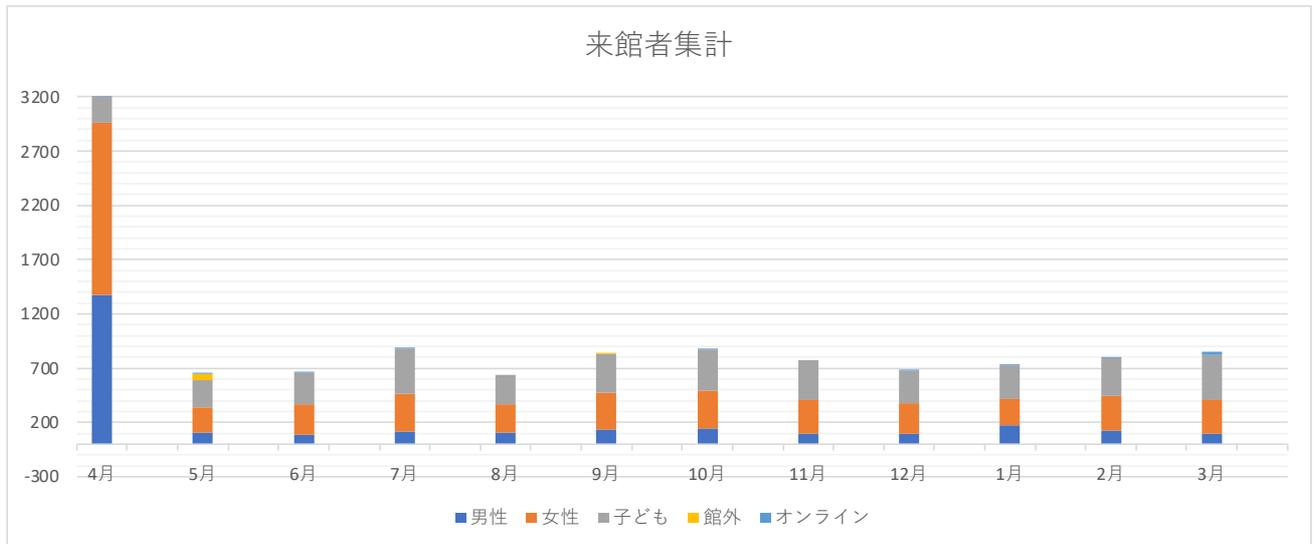
コミュニティルームの貸館事業、ギャラリーコーナー展示、夜間会館

■貸館事業に係る結果

延べ来館者：11,626人／目標 8,400人

来館者推移

来館者集計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
		3214	654	668	882	638	845	877	773	679	735	809	852	11,626
前年度集計		634	1004	658	947	1194	1204	1449	919	1163	1324	1147	760	12,403
前年度対比		506.9%	65.1%	101.5%	93.1%	53.4%	70.2%	60.5%	84.1%	58.4%	55.5%	70.5%	112.1%	93.7%
内 わ け	男性	1380	105	93	120	107	137	144	98	99	174	131	98	2,686
	女性	1581	238	278	344	261	341	350	310	280	244	312	306	4,845
	子ども	246	252	287	414	270	359	375	365	295	309	350	424	3,946
	館外	0	56	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	64
	オンライン	7	3	10	4	0	0	8	0	5	8	16	24	85



ラジオ体操参加者推移

参加者集計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
		311	273	268	263	333	212	227	179	164	158	170	214	2772
前年度集計		129	212	211	335	553	219	360	283	191	230	244	329	1530
前年度対比		-	128.8%	127.0%	78.5%	60.2%	96.8%	63.1%	63.3%	85.9%	68.7%	69.7%	65.0%	181.2%
内 わ け	男性	98	97	103	72	67	62	60	62	49	50	40	57	817
	女性	172	138	138	113	116	122	135	106	98	97	124	137	1496
	子ども	41	38	27	78	150	28	32	11	17	11	6	20	459

1-2 利用者アンケートの実施

イベント参加者に対してアンケートを実施。いずれも満足度は8割以上と高かった。

1-3 施設利用を促進する事業

◎メンズキッチンの実施（実施日：10月20日、参加者5名）

「料理サークル」を介した男性の第3の居場所創出事業。今年度で3年目を迎えたのだが、参加者が集まらず全6回開催予定が1回の開催にとどまった。その参加者も1年度2年度の参加者で新たな参加者がおらず、事業の広がりを見せることができなかった。

2. 地域活動の相談対応等、まちづくりの推進に係る事業

まちづくりの促進を行う

2-1 地域の相談対応

2-2 新規事業の立ち上げ支援

相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023 年度	15	8	10	7	9	8	7	11	10	8	10	7	110

新しく地域に引っ越して来られた方や、新規事業の相談まで、幅広い相談に対応。また、みんな食を通じて、ひとり親家庭支援の「ちょこっとサポート」の登録などの相談も行なった。

2-3 交流プログラムの実施

◎みんな食 Minna&たべラボサポート事業の実施（実施日：通年、参加者数 延べ3,840人）

地域食堂(子ども食堂)運営のサポート事業。毎月第1、第3金曜日のフードパントリー、第2、第4金曜日の食堂と市民にはっかせないインフラとなっている。ここで繋がった母親や子どものコミュニティや保育士や発達教育支援士、精神福祉士や小児精神科ナースなどの専門職を配置(不定期)することにより、悩みを持った保護者の相談支援にも繋がっている。また、ここでの相談からひとり親支援事業「ちょこっとサポート事業」の設立へと繋がった。



◎周年祭（実施日：12月3日-5日、参加者数100名）

登録、協力団体の活動紹介やローカルアーティストの作品展。花を通じたコミュニティ、親子の交流の場所の創出。つながる文化祭：ローカルアーティストの作品展（10の個人及び団体）は一つ一つの作品のレベルが高く、見応えがあった。ジオラマ&鉄道模型を作成した真貝（シンカイ）さんの作品は、実際の写真を使用し、細かい箇所までのこだわりがあり、愛情のこもった作品だった。また、クリスマスキャンドルアレンジメントワークショップでは花を通じてコミュニティの創出と親子のコミュニケーションの場所作りにもなった。

2-4 まちの賑わいと価値を創出する事業

◎ラジオ体操（実施日：通年、参加者数 延べ2,727人）

毎朝のラジオ体操をきっかけとし、市民の交流の場づくり事業。毎朝、顔合わせることにより、安否確認ができる間柄の形成や、それぞれの市民活動への参加やみん食 Minna やまちスポ花活クラブへの参加などにつながり、交流の場としてだけでなく、市民活動のきっかけづくりとなっている。



◎まちスポ花活クラブ（実施日：通年、参加者数 延べ120人）

福岡市花と緑のコーディネーター花むすびと協働し、ランチ福岡下原の花壇整備を実施しながら、市民の交流の場づくり事業。毎月、定期的に花壇整備を実施。それをきっかけとして、まちスポ福岡東の事業にボランティア参加する新たなコミュニティへと成長した。



◎サマーキッズラボ（実施日：7月-8月、参加者数 延べ137人）

環境教育を通じた子どもの探究学習事業。夏休みの子どもの居場所事業にもなっている。今年で3年目の事業。今年も4回のワークショップを実施。今年度は新たな取組として、4回全てのワークショップに参加した子どもにはオリジナルTシャツをプレゼントする企画も盛り込んだ。子どもの自主性や非認知能力の育みを主眼に捉え、各ワークショップに教育専門職を配置。保護者にはアフターアンケートを取り、子どもたちの行動が本事業を通してどう変わったのか追跡。自ら環境について考え行動するようになったり、いろんなことに挑戦するようになったとの一定の成果が見られた。



◎スマイルフードドライブ（実施日：9月-10月、参加者数 延べ70人）

フードドライブ促進事業。フードドライブボックス設置促進、食育ワークショップ、ロスロスハロウインの3本の事業。フードドライブボックスの設置促進については、今年度は東区校区の公民館などに設置すると目標設定していたが、設置が進んだのは1箇所にとどまった。食育ワークショップは今年度は九産大たべものレスキュープロジェクトに加え、福岡市中央青果市場、みんな食 Minna と共動し、市場で販売することができなかった野菜たちでカレー作りを実施した。ロスロスハロウインは、LABO PARTY(国際交流団体)、香椎下原自治協が共動し、食品を寄付していただく事業所や個人宅を開拓していただき、そこを巡回した。ランチ下原のテナントも例年通り、協力していただき食品を回収し、みんな食 Minna や福岡子ども食堂ネットワークなどに寄付することができた。



3. 地域活動団体等のネットワーク化に係る事業

3-1 全国まちスポ交流会への参加

今年度はスケジュールが合わず参加できなかったが、他地域のまちスポの活動は参考にしている。

3-2 地域活動ネットワーク化支援事業

継続支援を行っているフードドライブネットワークと、福岡市を中心とした子ども食堂ネットワークの構築支援を行った。

4. 人材育成及び研修に係る事業

4-1 職員研修

福岡市 NPO ボランティアセンターの主催する NPO 基盤整備に関わる研修への参加。また、他 NPO の実施する事業への視察などを行なった。

5. 地域の情報収集・発信に係る事業

5-1 地域情報補収集・情報発信

周辺の公民館、自治協議会と連携し、地域情報の収集を行った。地域の事業をフェイスブックで発信したり、まちスポでの広報物の配架を行った。

5-2 ソーシャルメディアの運用

Facebook、Instagram、LINE 等で、事業や情報発信を行った。

5-3 定期刊行物やメールマガジンの発行

地域情報紙としてまちいろペーパーの9号を発行した。



5-4 団体の広報サポート

活動を続ける団体や地域活動、行政関係のチラシや、ポスターを配架、掲示した。ギャラリー展示は、女性起業家の作家物、九州産業大学の学生の絵画・写真、高齢者の書、相談対応からの展示、福祉事業所のものなどを展示した。

6. パブリックスペース等の調査及び研究に係る事業

実施なし

7. 災害に関する緊急支援及び復興支援に係る事業

7-1 災害復興支援

7-2 防災意識の啓発

◎防災の学校 2023（実施日 1月 28 日、参加者数 27 人）

防災啓発事業。今年度は地域防災活動団体と共同体「防災の学校プロジェクト」を組み、小学生向けワークショップを実施。NHK や Yohoo!Japan などから取材を受ける事業となった。また、防災事業としては初めてランチ福岡下原を出て福津市で実施。福津市の子育て支援団体と共動し実施した。共動した子育て支援団体と講師である東日本大震災を伝える会、イーストウエストふくおかがその後、3月2日に福津で開催された防災訓練事業に共動で参加するなど、今後の連携に繋がった。



8. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

8-1 会議などの業務

通常総会 1 回、理事会 4 回開催。

8-2 会員に関する業務

賛助会員の募集を年間を通じて行った。

8-3 自主事業の開発

防災の学校や、女性起業家支援についてのコンテンツを蓄積することができた。